

# 【COPYコマンドによるデ - タ転送】 (M1890A シリアル転送の場合)

## 1 . パソコンとM1890Aの接続

RS 2 3 2 Cストレートで接続します。

## 2 . 転送フォ - マットの設定

「EDIT」キ - を1回押し「FORMAT/1」キーを1回押します。  
「」「」を押して、フォ - マットを選択します。選択後、「ENTRY」キー  
を押すと{COMPLETE}と表示され、設定完了です。

## 3 . R s i n p u t の設定

「I/O」キ - を1回押し「INIT/0」を押します。{Rs in}と表示されます。  
{000000 03FFFF} (プログラムのバッファが2Mbitの場合)と表示されるので下記  
【アドレス設定】を参照し、デ - タスタート、バッファスタートアドレスの設定を行  
います。

### 【アドレス設定】

表示の、左側6桁はデ - タのスタートアドレス、右側6桁がデータのエンドアドレス  
を示します。

「ENTRY」キーを押すとプログラムのバッファスタートアドレスを示します。  
デ - タスタートアドレス、バッファスタートアドレスが共に0番地で良い場合は、  
初期設定の状態です。「START」キ - を押します。  
また、データスタートアドレス/エンドアドレスを変更したい場合は、  
アドレス設定後「START」キーを押して設定を完了して下さい。

### 【アドレス設定完了後】

上記アドレス設定完了後、『Rs in』(フォ - マットがインテルHEXの場合)  
と画面に表示されればプログラムの設定は完了です。パソコンからのデ - タ入力待  
ちとなりますので、4 . パソコン側の設定を行って下さい。

## 【COPYコマンドによるデ - タ転送】 (M1890A シリアル転送の場合)

### 4 . パソコン側の設定

パソコンを立ち上げ、MS-DOSプロンプトを起動する。

【パソコンのボーレート等の設定】

**MODE COM1 : 19200,n,8,2**

これはパソコンの使用ポートがCOM1、ボーレートが19200、パリティ無し、  
キャラクターが8、STOP BITが2の設定となります。

「I/O」を押し、その後、「DEL/7」を押し、ENTRYを押し、M1890Aの設定と合せて  
下さい。(取説P35参照)

【COPYコマンド】

データがインテルHEX「minato.hex」の場合、画面上で、

**COPY C : minato.hex COM1**

(COPY ドライブ : ファイル名 COM1)

リターンを押せば、プログラマへのデ - タ転送が開始される。

また、デ - タがバイナリ - の場合は、2 . 転送フォ - マット設定で、  
『NO FORMAT』を選択 (『BINARY』は不可)。

転送デ - タがバイナリ - 「minato.bin」の場合、

**COPY /B C : minato.bin COM1**

(COPY /B ドライブ : ファイル名 COM1)

終了後は、「EXIT」リターンで画面を抜ける。

以上